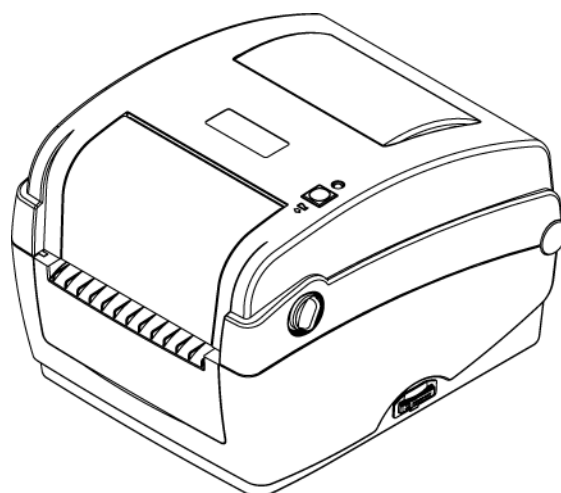


**TTP-245C / TTP-343C / TTP-244CE**

**熱転写式/感熱式バーコードプリンタ**

**取扱  
説明書**



# 目次

著作権表示.....	i
1. はじめに.....	ii
1.1 製品紹介.....	ii
1.2 コンプライアンス .....	ii
2. 操作概要.....	1
2.1 開梱検査.....	1
2.2 プリンタ概要 .....	2
2.2.1 正面図 .....	2
2.2.2 内部図 .....	4
2.2.3 背面図 .....	5
3. 設定.....	6
3.1 プリンタの設定 .....	6
3.2 上部カバーを開く/閉じる.....	7
3.3 リボンの装着 .....	8
3.4 メディアの取り付け .....	11
3.4.1 メディアの 取り付け.....	11
3.4.2 外部ラベルロールマウントの取り付け(オプション) .....	13
3.4.3 ピールオフモード(オプション)でのメディアの取り付け(オプション)....	15
3.4.4 カッターモードでのメディアの取り付け(オプション) .....	17
3.5 診断ツール.....	18
3.5.1 診断ツールの開始 .....	18
3.5.2 プリンタ機能(センサの校正、イーサネット設定、 RTC 設定など..... ) .....	19
3.6 診断ユーティリティによるイーサネットの設定.....	20
3.6.1 USB インターフェイスを使用してイーサネットインター フェイスを設定する .....	20
3.6.2 RS-232 インターフェイスを使用してイーサネットインター フェイスを設定する .....	21
3.6.3 イーサネットインターフェイスを使ってイーサネットインター フェイスを設定する .....	22
3.7 SD メモリカードの取り付け.....	24
4. LED とボタン機能 .....	26
4.1 LED インジケータ.....	26
4.2 通常ボタン機能 .....	26
4.3 パワーオン・ユーティリティ.....	26

4.3.1	リボンおよびギャップ/ブラックマーク センサー較正 .....	27
4.3.2	ギャップ/ブラックマーク較正、セルフテスト、ダンプモード .....	28
4.3.3	プリンタの初期化 .....	31
4.3.4	ブラックマーク センサーをメディアセンサーとして設定し、 ブラックマークセンサーを校正する .....	32
4.3.5	ギャップセンサーをメディアセンサーとして設定し、 s ギャップセンサーを校正する .....	32
4.3.6	AUTO.BAS をスキップ .....	33
5.	トラブルシューティング .....	34
5.1	LED ステータス .....	34
5.2	印刷画質 .....	35
6.	メンテナンス .....	36
	改訂履歴 .....	38

## 著作権表示

本書の情報は通知なく変更されることがあり、TSC Auto ID Technology Co., Ltd.側のいかなる義務も表現するものではありません。本書のいかなる部分も、TSC Auto ID Technology Co., Ltd.の書面による事前の許可なく、購入者の個人的使用以外の目的で複製または転送することは、形態、手段のいかんを問わず、固く禁止します。

# 1. はじめに

## 1.1 製品紹介

TSC バーコードプリンタをご購入いただき、誠にありがとうございます。本プリンタは省スペース型ながら、信頼のおける優れた性能をお届けします。

本プリンタは熱転写および感熱式印刷の両用となっており、TTP-245C シリーズでは 2.0、3.0、4.0、5.0 ips の、または TTP-343C シリーズでは 2.0 または 3.0 ips のユーザー選択可能な速度で印刷を実行できます。熱転写と感熱式のどちらの印刷でもロールフィード、ダイカット、ファンフォードラベルに対応します。一般的なバーコード形式がすべてご利用いただけます。フォントおよびバーコードは 4 方向に印刷が可能で、8 つの異なる英数字ビットマップフォントおよび内蔵 True Type フォント機能付きです。このプリンタで、ハイスループットのラベル印刷をご活用ください。

## 1.2 コンプライアンス

CE Class B:

EN55022: 1998+A1: 2000+A2: 2003

EN55024: 1998+A1: 2001+A2: 2003 IEC 61000-4 シリーズ

EN61000-3-2: 2006 & EN61000-3-3: 1995+A1: 2001

FCC パート 15、Class B

UL, CUL

C-Tick:

CFR 47、パート 15/CISPR 22 第 3 版: 1997 年、Class B

ANSI C63.4: 2003

Canadian ICES-003

TÜV/Safety: EN60950: 2000

Wichtige Sicherheits-Hinweise

1. Bitte lesen Sie diese Hinweis sorgfältig durch.
2. Heben Sie diese Anleitung für den späteren Gebrauch auf.
3. Vor jedem Reinigen ist das Gerät vom Stromnetz zu trennen. Verwenden Sie keine Flüssig-oder Aerosolreiniger. Am besten eignet sich ein angefeuchtetes Tuch zur Reinigung.
4. Die Netzanschluß-Steckdose soll nahe dem Gerät angebracht und leicht zugänglich sein.
5. Das Gerät ist vor Feuchtigkeit zu schützen.
6. Bei der Aufstellung des Gerätes ist auf sicheren Stand zu achten. Ein Kippen oder Fallen könnte Beschädigungen hervorrufen.
7. Beachten Sie beim Anschluß ans Stromnetz die Anschlußwerte.
8. Dieses Gerät kann bis zu einer Außentemperatur von maximal 40°C betrieben werden.

### 注意

1. カッターモジュールに含まれる危険な可動部分。指や身体部分を近づけないこと。
2. メインボードには、リチウム電池 CR2032 を取り付けたりアルタイムクロック機能が含まれています。電池を不適切なタイプと交換すると爆発の危険があります。
3. 使用済み電池の廃棄は製造元の指示に従ってください。

"ORSICHT"

Explosionsgefahr bei unsachgemäßen Austausch der Batterie. Ersatz nur durch denselben oder einem vom Hersteller empfohlenen nlichen Typ. Entsorgung gebrauchter Batterien nach Angaben des Herstellers.

**WARNUNG!  
GEFÄHRLICHE BEWEGLICHE TEILE – FINGER UND ANDERE KÖRPERTEILE  
FERNHALTEN!**

**VORSICHT!  
EXPLOSIONSGEFAHR BEI ERSATZ DER  
BATTERIE DURCH UNZULÄSSIGEN TYP.  
VERBRAUCHTE BATTERIEN IMMER  
VORSCHRIFTSGEMÄSS ENTSORGEN!**

B  
( )

注記:

- \* 連続印刷はプリンタモーターが過熱する原因となります。プリンタはモーターが冷却するまで約 10～15 分、自動的に印刷を停止します。プリンタが一時停止になっているとき電源をオフにしないでください。オフにすると、プリンタに転送されたデータが失われます。
- \* このプリンタのドットラインあたりの最大印刷比は 15%です。完全なウェブ黒線を印刷するために、黒線の最大高は 40ドット、すなわち 203DPI 解像度プリンタで 5mm、300DPI 解像度プリンタで 3.3mm に制限されます。
- \* 最大のウェブ黒バーは 5 mm にのみ制限されます。この制限を超えると、電源装置が損傷する可能性があります。

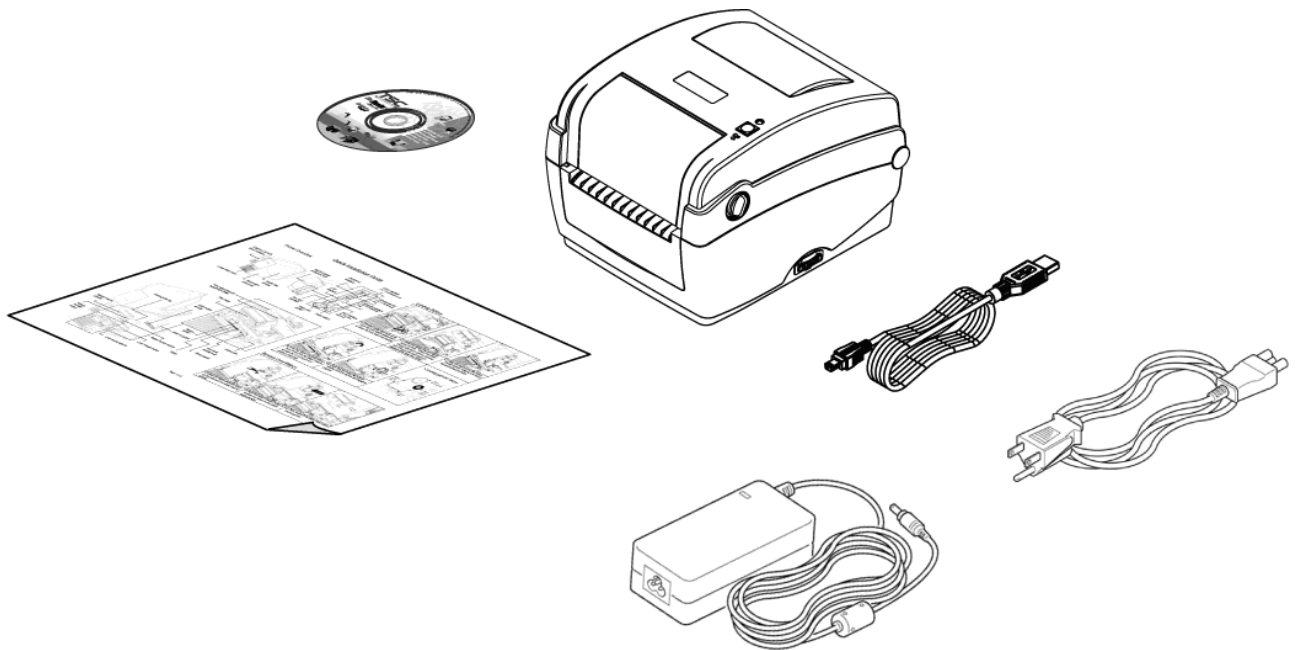
## 2. 操作概要

### 2.1 開梱検査

このプリンタは出荷中に損傷しないよう特別に梱包されています。  
バーコードプリンタを受け取ったら、すぐパッケージとプリンタを注意深く点検してください。  
プリンタを送り返すときに必要となる場合があるので、梱包資材は保存しておいてください。

プリンタのカートンには、次の品目が含まれています。

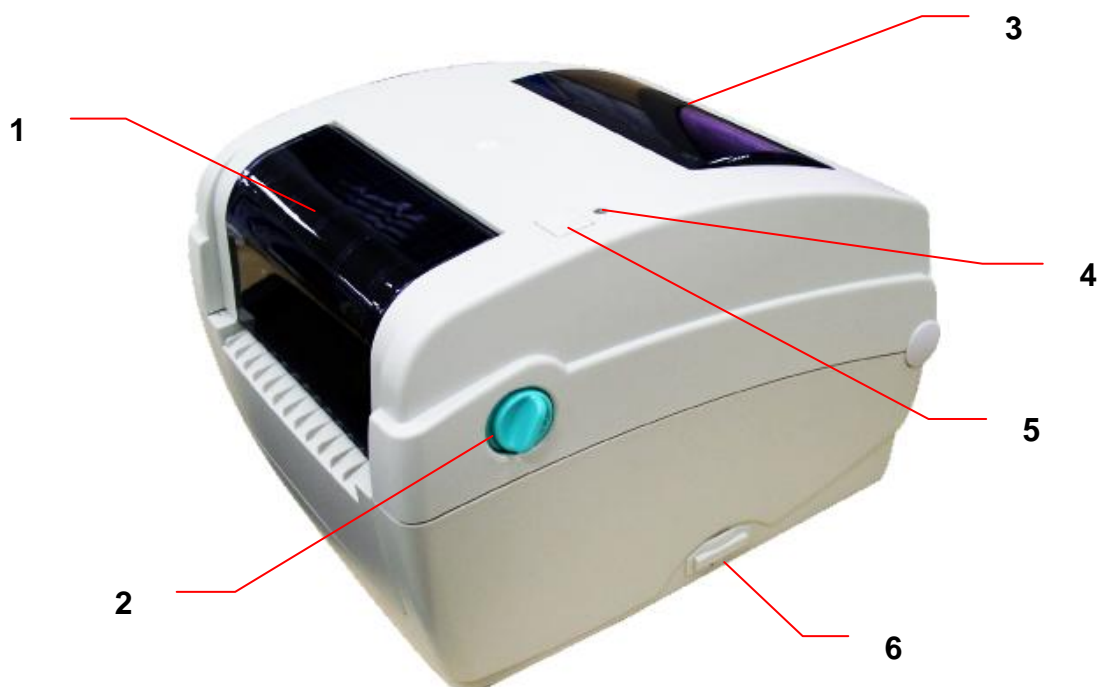
- プリンタ装置 x1
- Windows ラベリングソフトウェア/Windows ドライバーCD ディスク x1
- クイックインストールガイド x1
- 電源コード x1
- 自動切り替え電源装置 x1
- USB インターフェイスケーブル x1



部品が不足している場合は、購入された小売店または販売業者のカスタマーサービス部に連絡してください。

## 2.2 プリンタ概要

### 2.2.1 正面図



1. リボンアクセスカバー
2. 上部カバーオープンレバー
3. メディアビュー ウィンドウ
4. LED インジケータ
5. フィードボタン
6. SD カードソケット

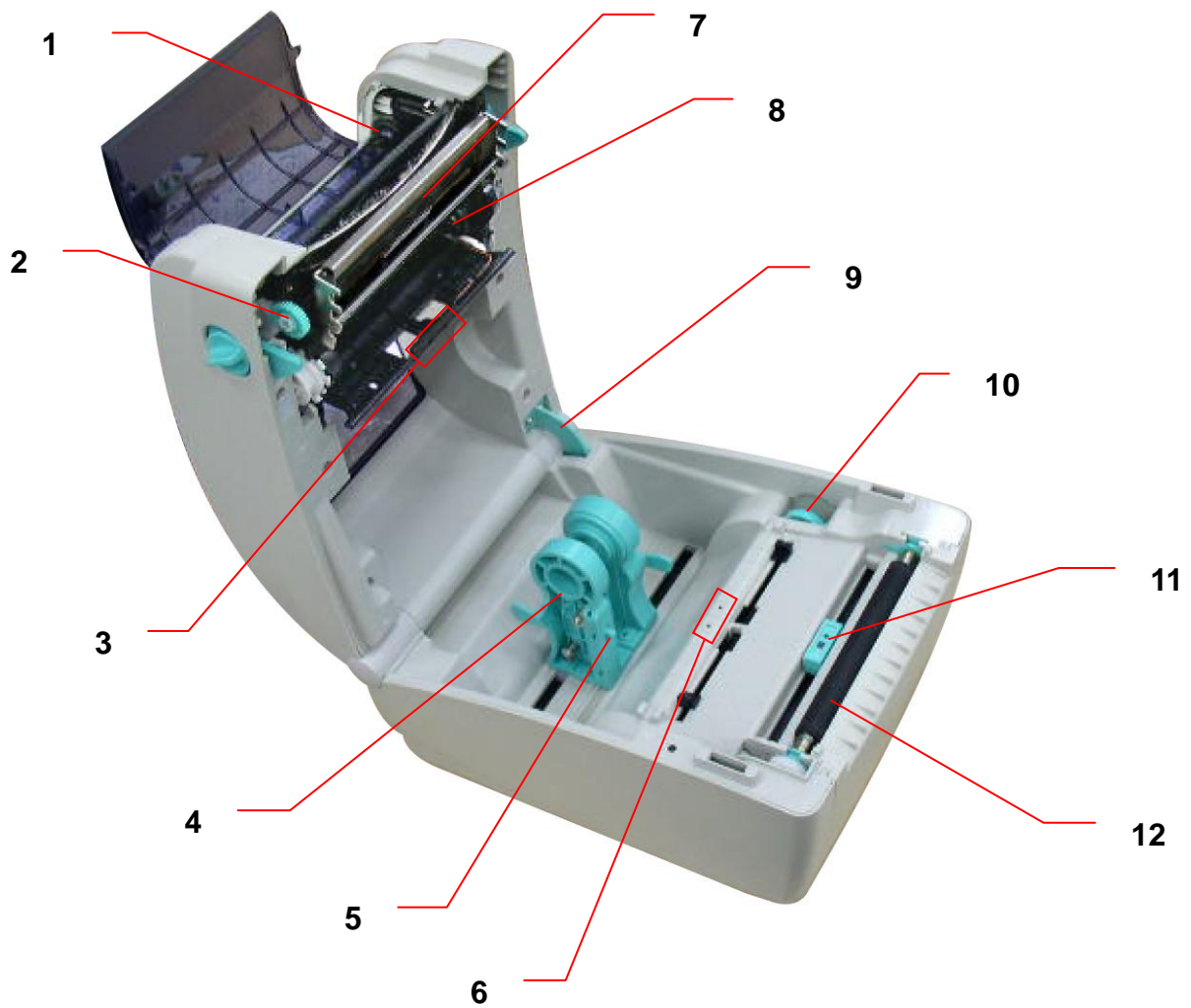
\*推奨 SD カードの仕様

SD カード仕様	SD カード容量	認定 SD カード製造元
V1.0、V1.1	128 MB	SanDisk、Transcend
V1.0、V1.1	256 MB	SanDisk、Transcend、Panasonic
V1.0、V1.1	512 MB	SanDisk、Transcend、Panasonic
V1.0、V1.1	1 GB	SanDisk、Transcend、Panasonic
V2.0 SDHC CLASS 4	4 GB	
V2.0 SDHC CLASS 6	4 GB	SanDisk、Transcend、Panasonic
V1.0、V1.1	microSD 128 MB	Transcend、Panasonic
V1.0、V1.1	microSD 256 MB	Transcend、Panasonic



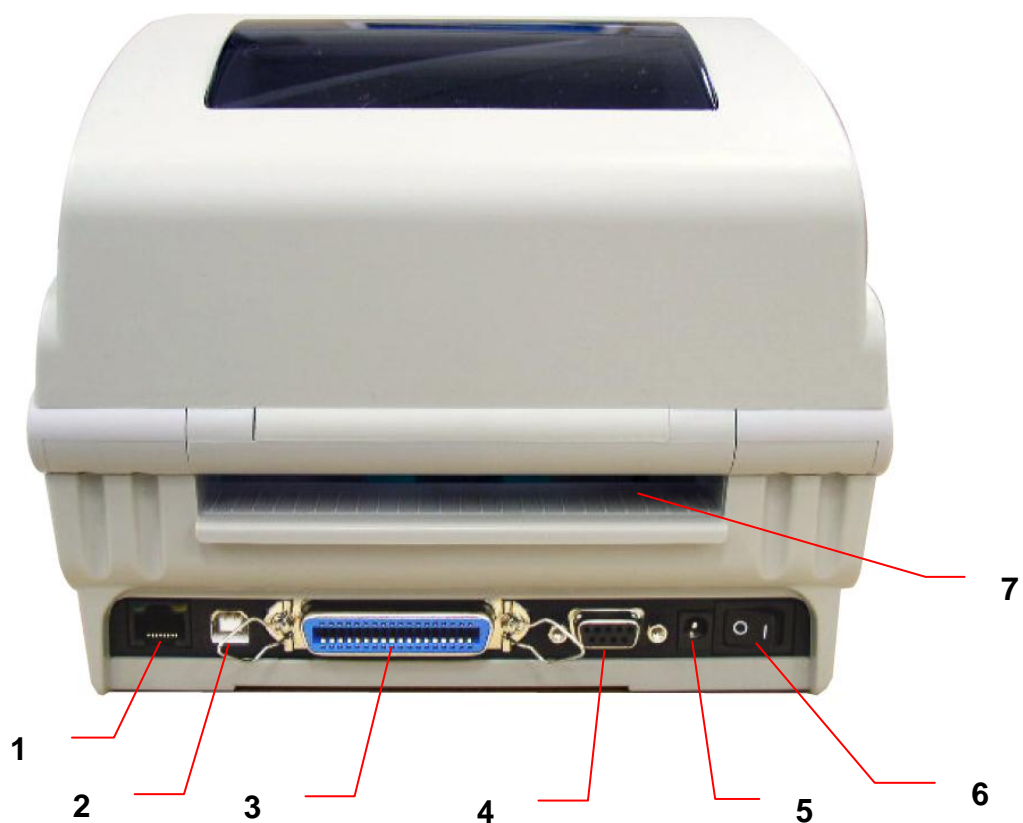
V1.0、 V1.1	microSD 512 MB	Panasonic
V1.0、 V1.1	microSD 1 GB	Transcend、 Panasonic
V2.0 SDHC CLASS 4	microSD 4 GB	Panasonic
V2.0 SDHC CLASS 6	microSD 4 GB	Transcend
V1.0、 V1.1	miniSD 128 MB	Transcend、 Panasonic
V1.0、 V1.1	miniSD 256 MB	Transcend、 Panasonic
V1.0、 V1.1	miniSD 512 MB	Transcend、 Panasonic
V1.0、 V1.1	miniSD 1 GB	Transcend、 Panasonic
V2.0 SDHC CLASS 4	miniSD 4 GB	Transcend
V2.0 SDHC CLASS 6	miniSD 4 GB	
<p>- DOS FAT ファイルシステムは SD カードに対応しています。</p> <p>- SD カードに格納されるフォルダ/ファイルは 8.3 ファイル名フォーマットでなければなりません。</p> <p>- miniSD/microSD カードツーSD カードスロットのアダプタが必要となります。</p>		

## 2.2.2 内部図



1. リボン巻き戻しハブ
2. リボン巻き戻しギア
3. ギャップセンサー(受信器)
4. メディアホルダー
5. メディアホルダ ロックスイッチ
6. ギャップセンサー(送信器)
7. プリンタヘッド
8. リボンサプライハブ
9. 上部カバー サポート
10. メディアガイド調節ノブ
11. ブラックマークセンサー
12. プラテンローラー

### 2.2.3 背面図

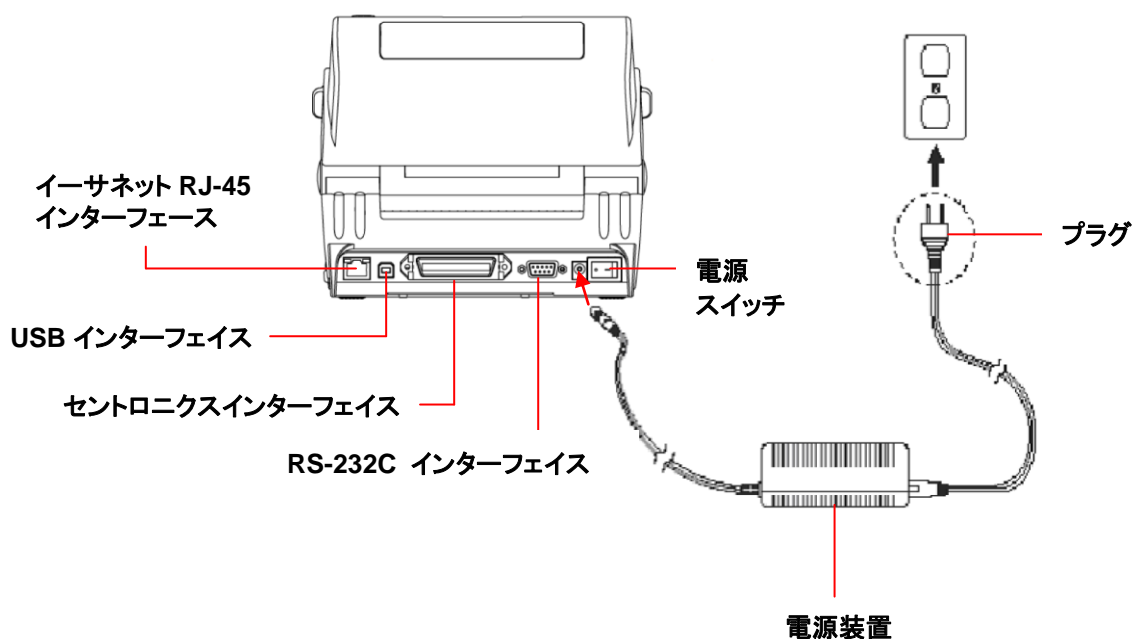


1. イーサネットインターフェイス
2. USB インターフェイス
3. セントロニクスインターフェイス
4. RS-232C インターフェイス
5. 電源ジャックソケット
6. 電源スイッチ
7. ファンフォールド用紙入口シュート

## 3. 設定

### 3.1 プリンタの設定

1. プリンタを平らで安全な表面に置きます。
2. 電源スイッチがオフになっていることを確認してください。
3. 付属の USB ケーブルでプリンタをコンピュータに接続します。
4. プリンタ背面の AC 電源コードソケットに電源コードを差し込み、正しく接地した電源コンセントに電源コードを差し込みます。



**注記:**

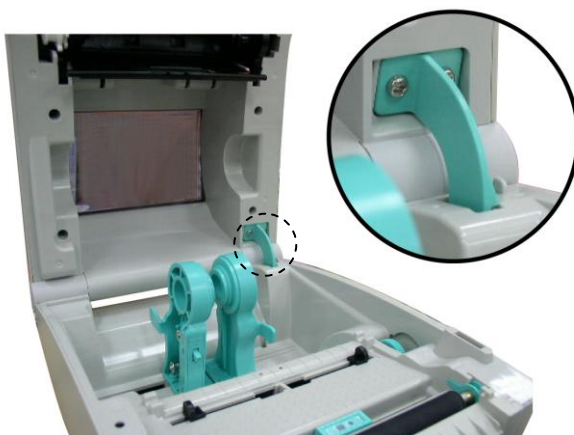
プリンタ電源スイッチを OFF(オフ)にしてから、電源コードをプリンタの電源ジャックに差し込んでください。

## 3.2 上部カバーを開く/閉じる

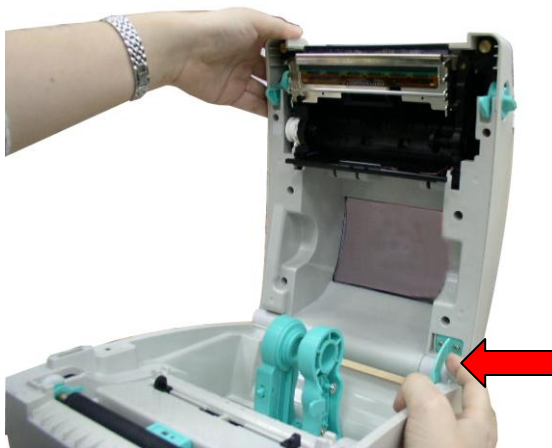
1. 両サイドにあるタブをプリンタの正面側に引いてプリンタの上部カバーを開け、上部カバーを最大解放角まで持ち上げます。



2. プリンタ背面の上部カバーサポートが 下部内側カバーとかみ合ってプリンタの上部カバーオープンを保持します。



3. 上部カバーを持って上部カバーサポートを押し、上部カバーサポートを下部カバー内側から外します。上部カバーをゆっくり閉じます。



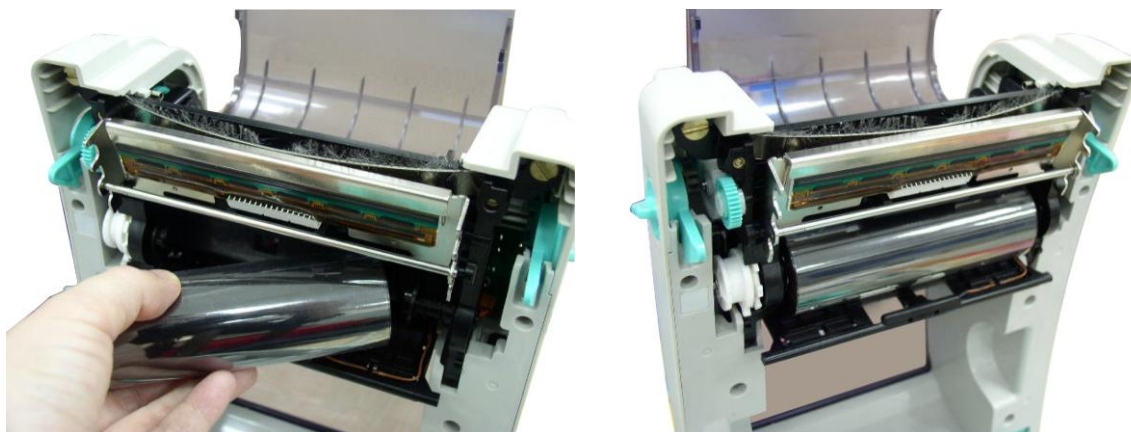
### 3.3 リボンの装着

1. プリンタの各サイドにある上部カバーのオープンレバーを引いて上部カバーを最大解放角まで上げることにより、プリンタの上部カバーを開きます。
2. リボンのアクセスカバーを開きます。

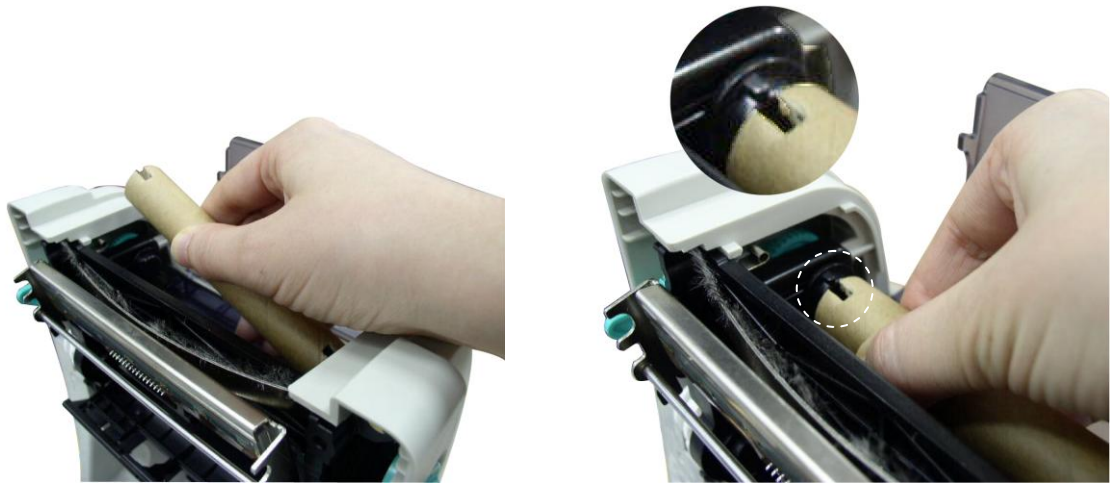


**注記:**

1. 通常の印刷モードで、上部カバーを開いている間にリボンのアクセスカバーを開くことができます。上部カバーが開いている間または閉じている間に、リボンアクセスカバーを閉じることができます。
2. ピーラーとカッターモードで、上部カバーを開くとリボンのアクセスカバーを開いたり閉じたりできます。
3. リボンの右側をサプライハブに挿入します。左側にあるV字形の切込みをそろえてスポークに取り付けます。



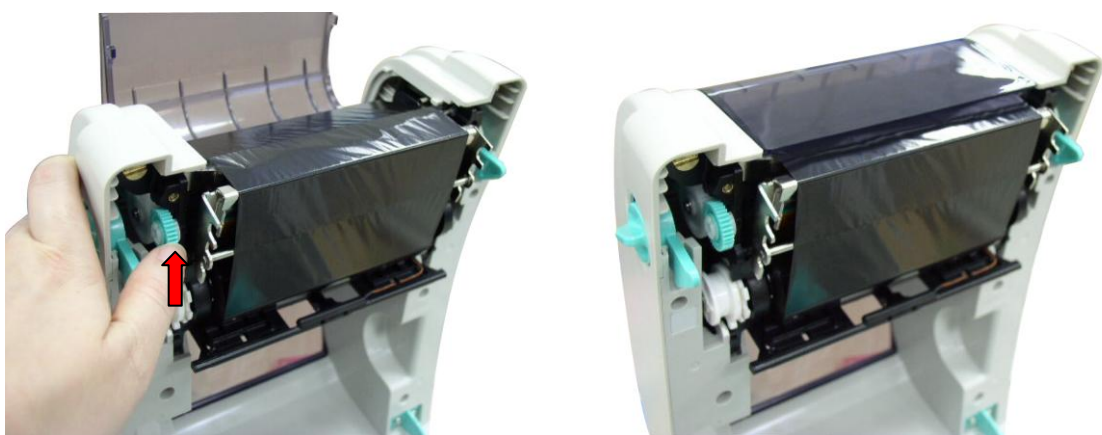
4. ペーパーコアの右側を巻き戻しハブに挿入します。左側にあるV字形の切込みをそろえてスポークに取り付けます。



5. リボンをリボン巻き戻しペーパーコアに留めます。



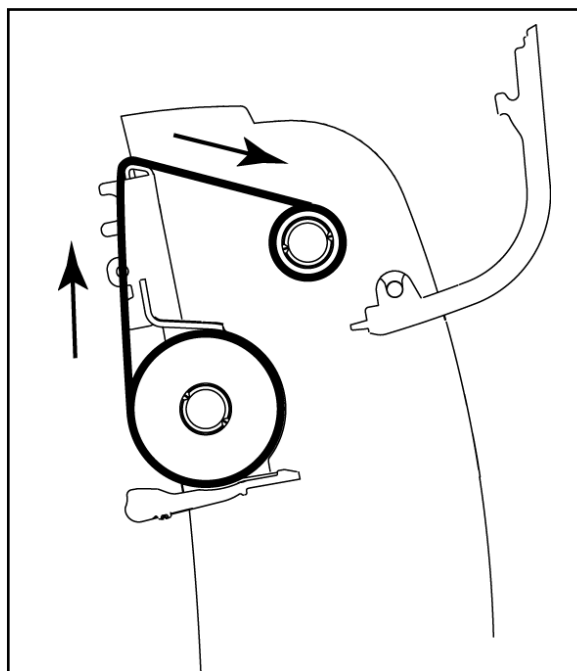
6. リボンのプラスチック製リーダーが完全に巻かれ、リボンカバーの黒いセクションがプリントヘッドを覆うまでリボン巻き戻しギアを回します。リボンアクセスカバーと上部カバーを閉じます。



注記:

[TSC YouTube](#) またはドライバーCD のビデオを参照してください。

- リボンの取り付け経路

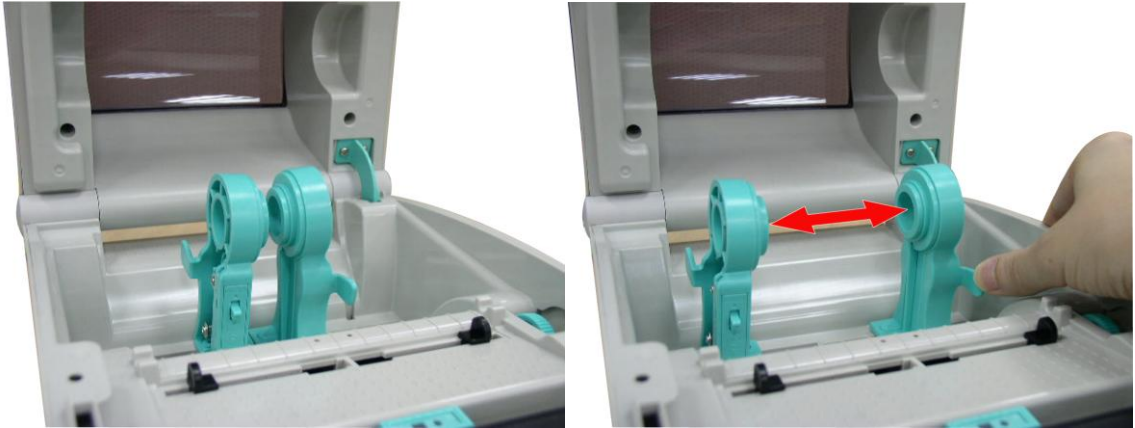




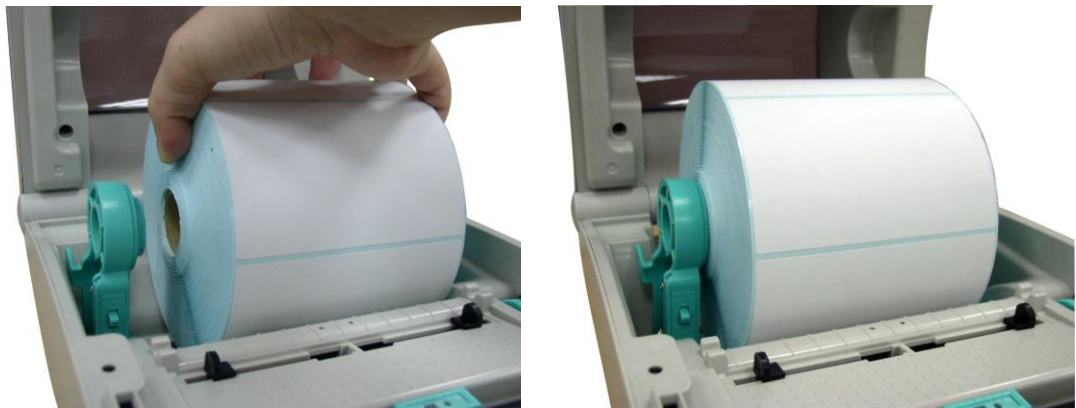
## 3.4 メディアの取り付け

### 3.4.1 メディアの 取り付け

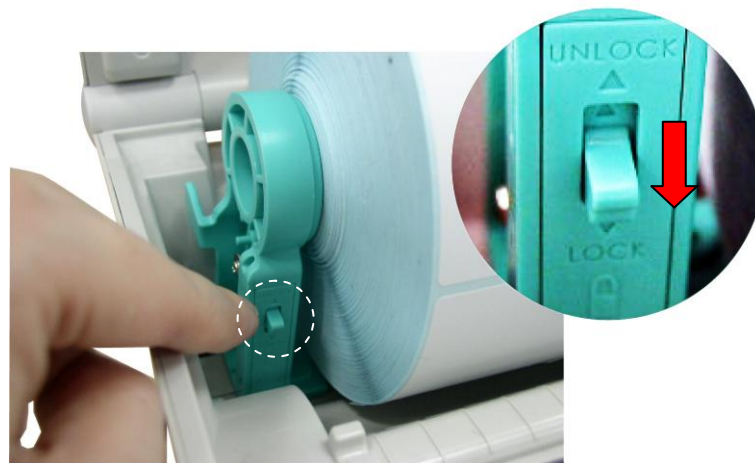
1. 両サイドにあるタブをプリンタの正面側に引いてプリンタの上部カバーを開け、上部カバーを最大解放角まで持ち上げます。
2. メディアホルダーを引き離し、開けたままに保ちます。



3. ロールをホルダーの間に配置し、コア上でそれを閉じます。

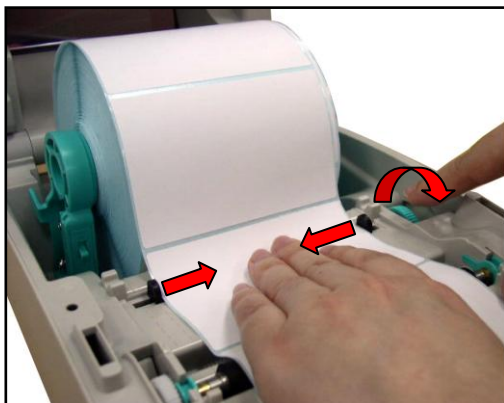


4. メディアホルダーのロックスイッチを押し下げて、ラベルロールをしっかりと保持します。



5. 印刷面を上に向けた状態でペーパーをメディアセンサーに通して置き、ラベルの先端をプラテンローラー上に配置します。ガイドアジャスターノブを回して、ラベル幅がフィットするようにメディアガイドを動かします。上部カバーサポートを外し、上部カバーをゆっく

り閉めます。



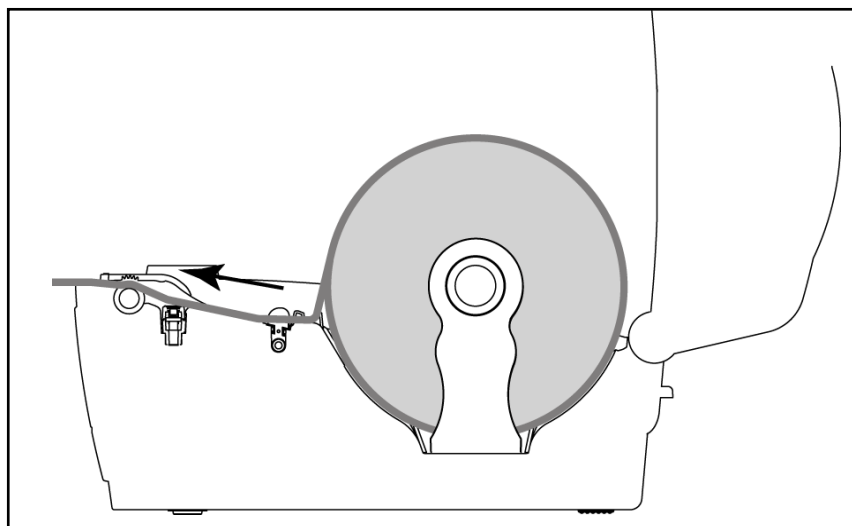
6. 「Diagnostic Tool(診断ツール)」を使ってメディアセンサーの種類をセットし、選択したセンサーを校正します。(「Diagnostic tool(診断ツール)」 → をスタートし、「Printer Configuration(プリンタ構成)」タブ → を選択して「Calibrate Sensor(センサーの校正)」ボタンをクリックします) 詳細については、診断ユーティリティ クイックスタートガイドを参照してください。

注記:

メディアを変更する時は、ギャップ/ブラックマークのセンサーを校正してください。

[TSC YouTube](#) またはドライバーCD のビデオを参照してください。

- ロールラベルの取り付け経路



### 3.4.2 外部ラベルロールマウントの取り付け(オプション)

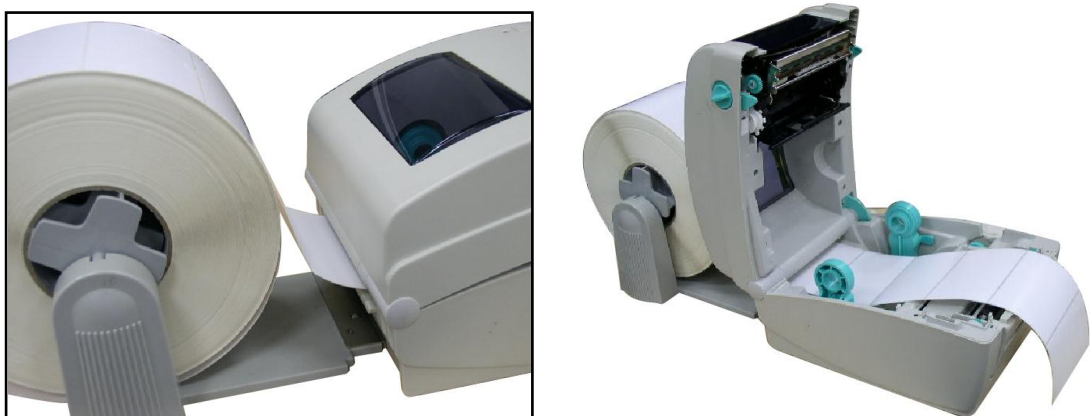
1. 外部ペーパーロールマウントをプリンタ下部に取り付けます。



2. 3 インチラベルスピンドルをペーパーロールに挿入します。続いて、これを外部ペーパーロールマウントに取り付けます。



3. プリンタの上部カバーを開け、メディアホルダを離してメディア幅に合わせます。
4. メディアホルダのロックスイッチを押し下げて、メディアホルダを固定します。
5. 背面の外部ラベル入口シュートからメディアを送ります。印刷面を上に向けた状態でペーパーをメディアセンサーに通して置き、ラベルの先端をプラテンローラー上に配置します。



6. ガイドアジャスターノブを回して、ラベル幅がフィットするようにメディアガイドを動かします。
7. 上部カバーサポートを外し、上部カバーをゆっくり閉めます。

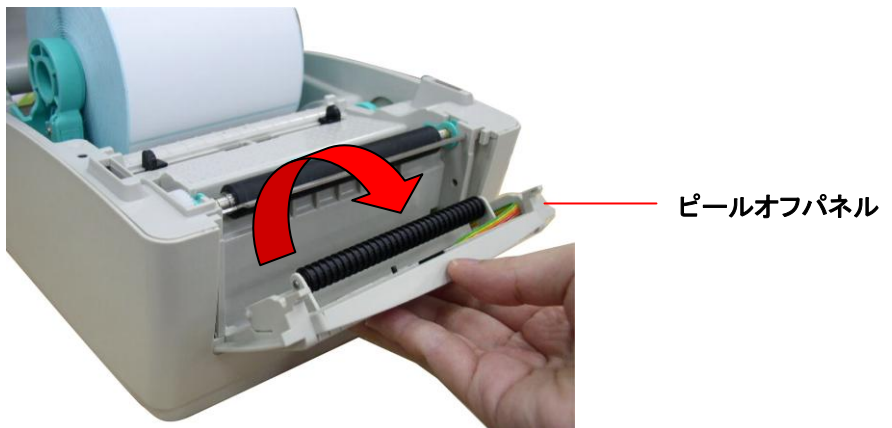


8. 「Diagnostic Tool(診断ツール)」を使ってメディアセンサーの種類をセットし、選択したセンサーを校正します。(「Diagnostic tool(診断ツール)」 → をスタートし、「Printer Configuration(プリンタ構成)」タブ → を選択して「Calibrate Sensor(センサーの校正)」ボタンをクリックします) 詳細については、診断ユーティリティ クイックスタートガイドを参照してください。

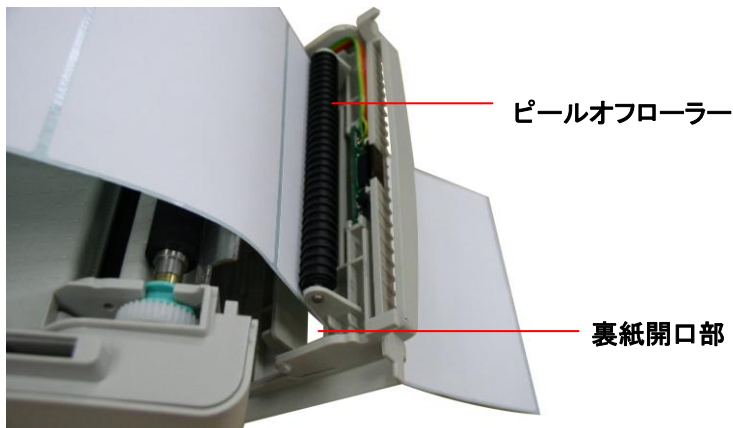
**注記:** メディアを変更する時は、ギャップ/ブラックマークのセンサーを校正してください。

### 3.4.3 ピールオフモード(オプション)でのメディアの取り付け(オプション)

1. メディアをロードするには、セクション 3.4.1 を参照してください。
2. 印刷面を上に向けた状態でペーパーをペーパーガイドに通してフィードし、プラテンに送ります。
3. ガイドアジャスターノブを回して、ラベル幅がフィットするようにメディアガイドを動かします。
4. 「Diagnostic Tool(診断ツール)」を使ってメディアセンサーの種類をセットし、選択したセンサーを校正します。(「Diagnostic tool(診断ツール)」 → をスタートし、「Printer Configuration(プリンタ構成)」タブ → を選択して「Calibrate Sensor(センサーの校正)」ボタンをクリックします) 詳細については、診断ユーティリティ クイックスタートガイドを参照してください。
5. 引き出して、ピールオフパネルを開きます。



6. ピールオフローラーの下の裏紙開口部にメディアを通します。



7. ピールオフパネルをプリンタに押し戻します。



8. 上部カバーサポートを外し、上部カバーをゆっくり閉めます。
9. ピーリングが自動的に開始されます。FEED(フィード)ボタンを押してテストします。

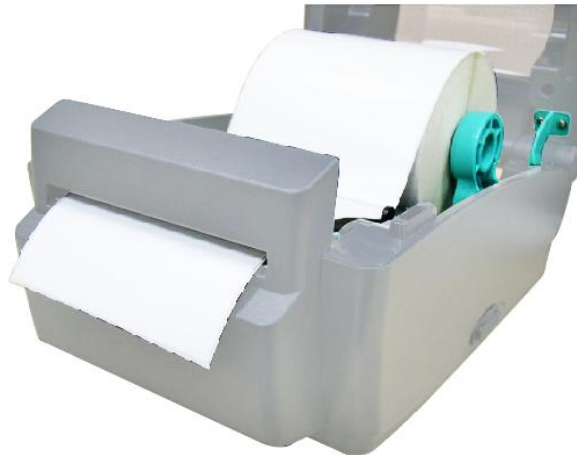


**注記:**

- \* メディアを変更する時は、ギャップ/ブラックマークのセンサーを校正してください。
- \* このピールオフモジュールは熱/普通ラベルでのみサポートされます。

### 3.4.4 カッターモードでのメディアの取り付け(オプション)

1. メディアをロードするには、セクション 3.4.1 を参照してください。
2. メディアをカッターペーパー開口部を通して送ります。



3. ガイドアジャスターノブを回して、ラベル幅がフィットするようにメディアガイドを動かします。
4. 上部カバーサポートを外し、上部カバーをゆっくり閉めます。
5. 「Diagnostic Tool(診断ツール)」を使ってメディアセンサーの種類をセットし、選択したセンサーを校正します。(「Diagnostic tool(診断ツール)」 → をスタートし、「Printer Configuration(プリンタ構成)」タブ → を選択して「Calibrate Sensor(センサーの校正)」ボタンをクリックします) 詳細については、診断ユーティリティ クイックスタートガイドを参照してください。

#### 注記:

メディアを変更する時は、ギャップ/ブラックマークのセンサーを校正してください。

#### \* 標準カッターの仕様:

フルカット: 用紙厚み: 0.06~0.19mm、500,000 カット

用紙厚み: 0.19mm 200,000 カット

部分カット: 用紙厚み: 0.06~0.12mm、500,000 カット

- \* 台紙なしカッターを別にすれば、すべての標準/高耐久性/ケアラベルカッターは接着剤付きメディアをカットしません。

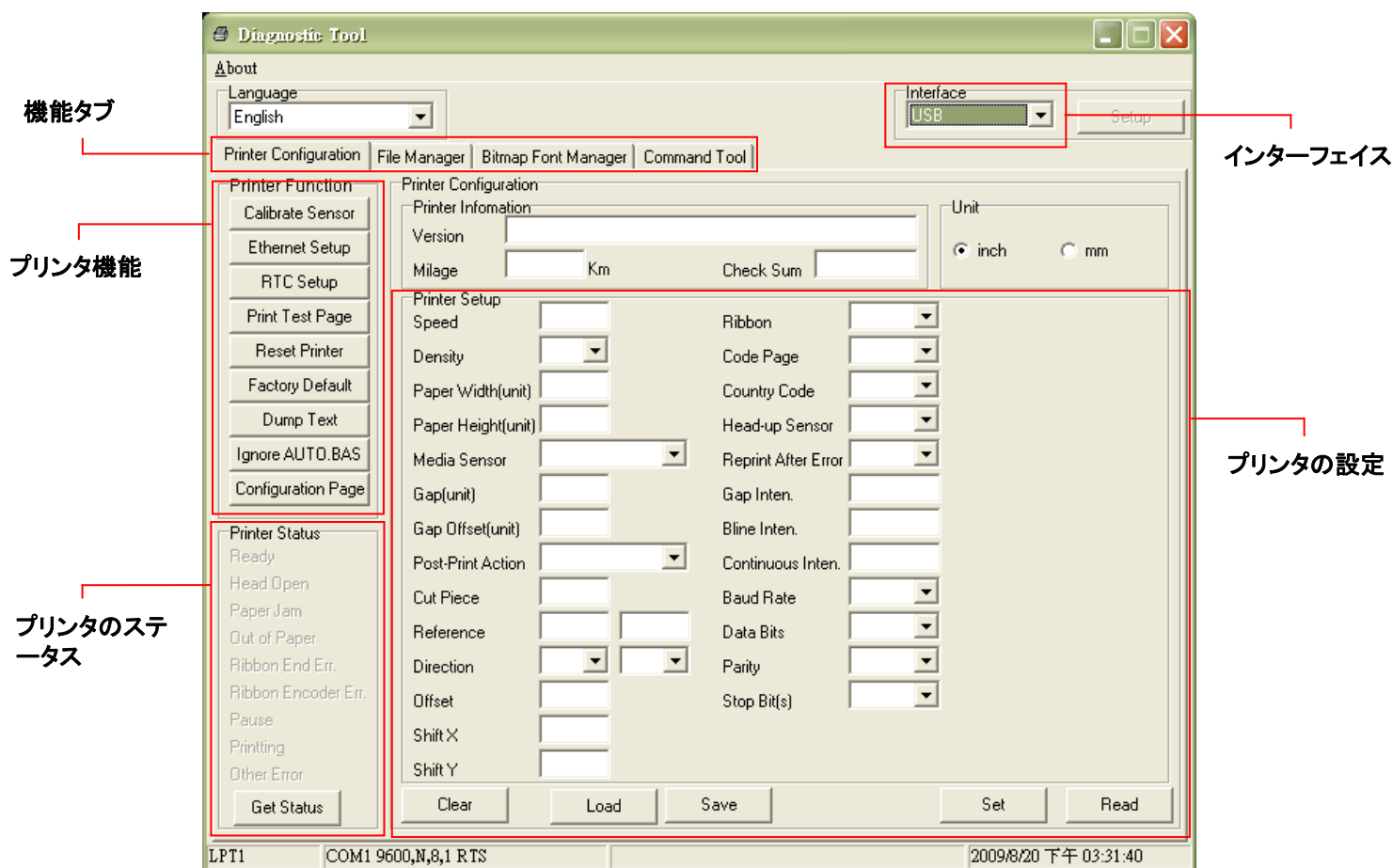
## 3.5 診断ツール

診断ユーティリティは、ユーザーがプリンタの設定やステータスの検索、プリンタ設定の変更、グラフィックやフォント、ファームウェアのダウンロード、プリンタのビットマップフォントの作成、追加のコマンドのプリンタへの送信などを実行できるツールボックスです。この便利なツールを使うと、プリンタのステータスや設定を探ったり、プリンタのトラブルを解決することができます。

注記： このユーティリティはプリンタファームウェア V6.00 以降のバージョンで動作します。

### 3.5.1 診断ツールの開始


1. Diagnostic tool (診断ツール) アイコンをダブルクリックすると、  ソフトウェアが起動します。
2. 診断ユーティリティには 4 つの機能 (Printer Configuration (プリンタ構成)、File Manager (ファイルマネージャー)、Bitmap Font Manager (ビットマップフォントマネージャー)、Command Tool (コマンドツール)) が含まれます。





### 3.5.2 プリンタ機能(センサの校正、イーサネット設定、RTC 設定など..... )

1. バーコードプリンタに接続された PC インターフェイスを選択します。
2. 「Function(機能)」ボタンをクリックして設定します。
3. Printer Function(プリンタ機能)グループの詳細機能は以下のとおりです。

	機能	説明
	Calibrate Sensor (センサーの校正)	プリンタの設定グループメディアセンサー欄に指定されたセンサーを校正します
	Ethernet Setup (イーサネットの設定)	IP アドレス、サブネットマスク、オンボードのイーサネット用ゲートウェイを設定します(次のセクションを参照)
	RTC Time (RTC タイム)	プリンタのリアルタイムクロックと PC を同期します
	Print Test Page (テストページの印刷)	テストページを印刷します
	Reset Printer (プリンタのリセット)	プリンタを再起動します
	Factory Default (工場出荷時のデフォルト)	プリンタを初期化し、設定を工場出荷時のデフォルト値に復元します。
	Dump Text (テキストのダンプ)	プリンタダンプモードを起動します。
	Ignore AUTO.BAS (AUTO.BAS の無視)	ダウンロードされた AUTO.BAS プログラムを無視します
	Configuration Page (構成ページ)	プリンタ構成を印刷します


注記:

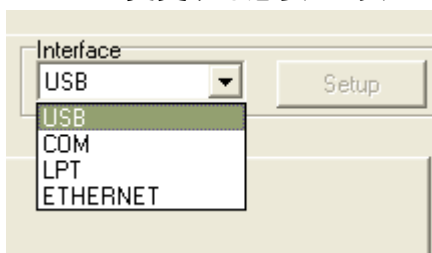
診断ツールについての詳細は、CD ディスク¥ユーティリティディレクトリの診断ユーティリティクイックスタートガイドを参照してください。

## 3.6 診断ユーティリティによるイーサネットの設定

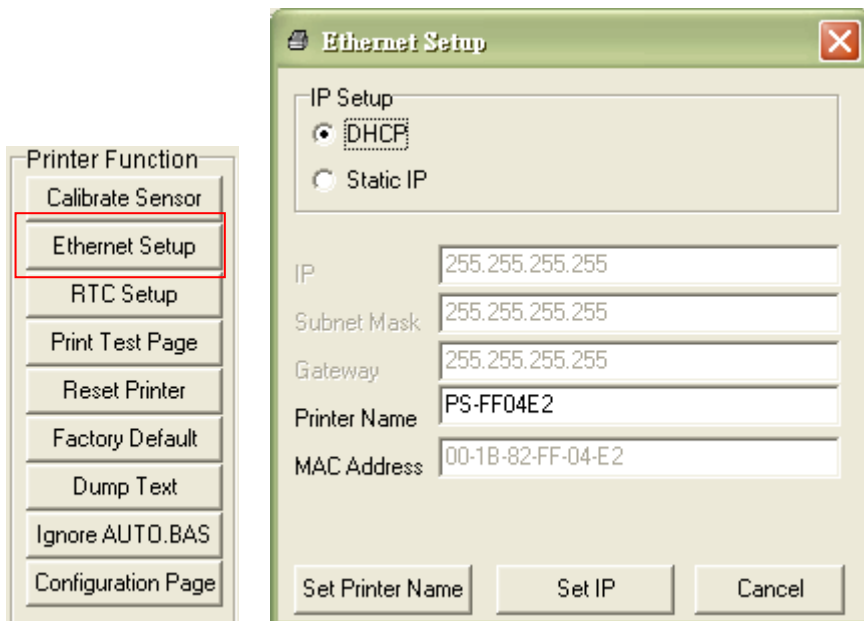
診断ユーティリティは CD ディスクのユーティリティ ディレクトリに含まれています。診断ツールを使って、RS-232、USB とイーサネットインターフェイスによりイーサネットを設定することができます。以下は、これら 3 種類のインターフェイスによるイーサネットの構成方法の説明です。

### 3.6.1 USB インターフェイスを使用してイーサネットインターフェイスを設定する


1. コンピュータとプリンタを USB ケーブルで接続します。
2. プリンタの電源を入れます。
3. アイコンをダブルクリック  `DiagTool.exe` して診断ユーティリティを起動します。  
**注記:** このユーティリティはプリンタファームウェア V6.00 以降のバージョンで動作しません。
4. 診断ユーティリティのデフォルトインターフェイス設定は USB インターフェイスです。USB インターフェイスがプリンタに接続されている場合、他の設定をインターフェイスフィールドで変更する必要はありません。



5. プリンタ構成タブの「Printer Function (プリンタ機能)」グループから「Ethernet Setup (イーサネット設定)」ボタンをクリックして、オンボードイーサネットの IP アドレス、サブネットマスク、およびゲートウェイを設定します。

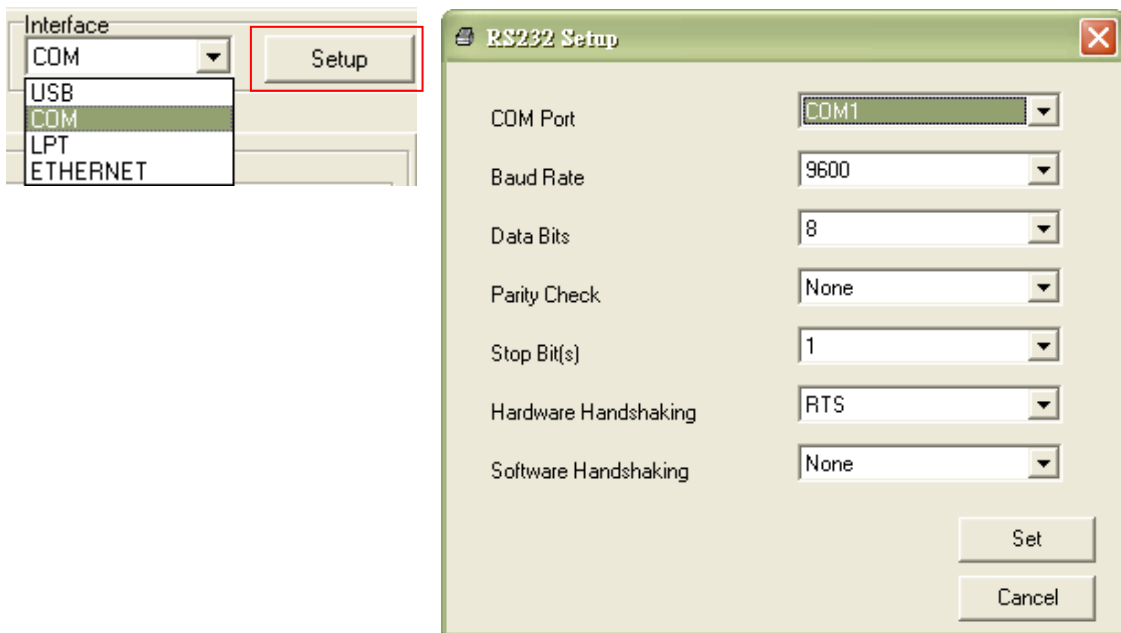


### 3.6.2 RS-232 インターフェイスを使用してイーサネットインターフェイスを設定する

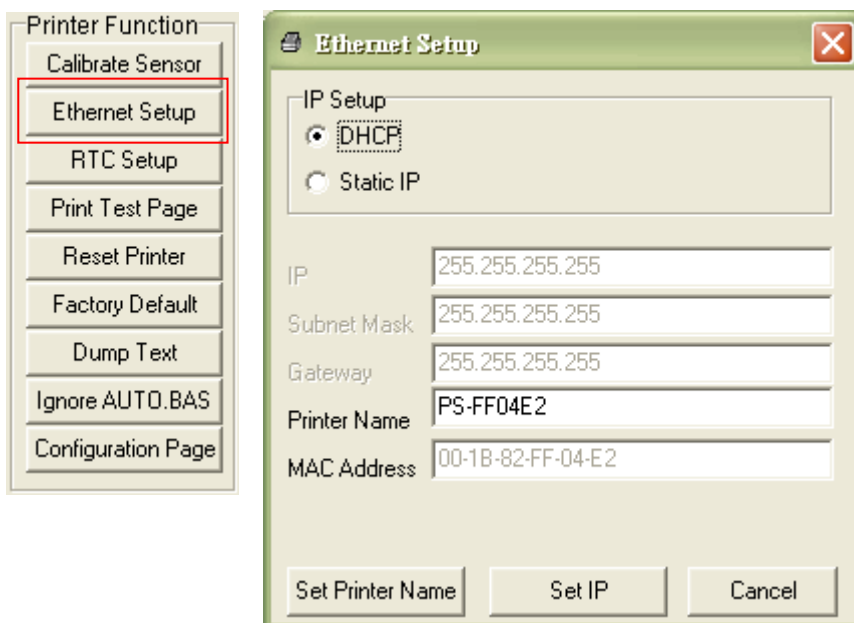
1. RS-232 ケーブルでプリンタをコンピュータに接続します。
2. プリンタの電源を入れます。
3. アイコンをダブルクリック  `DiagTool.exe` して診断ユーティリティを起動します。

**注記:** このユーティリティはプリンタファームウェア V6.00 以降のバージョンで動作しません。


4. 「COM」をインターフェイスとして選択し、「Setup(設定)」ボタンをクリックしてシリアルポートボーレート、パリティチェック、データビット、ストップビット、フロー制御パラメータを設定します。

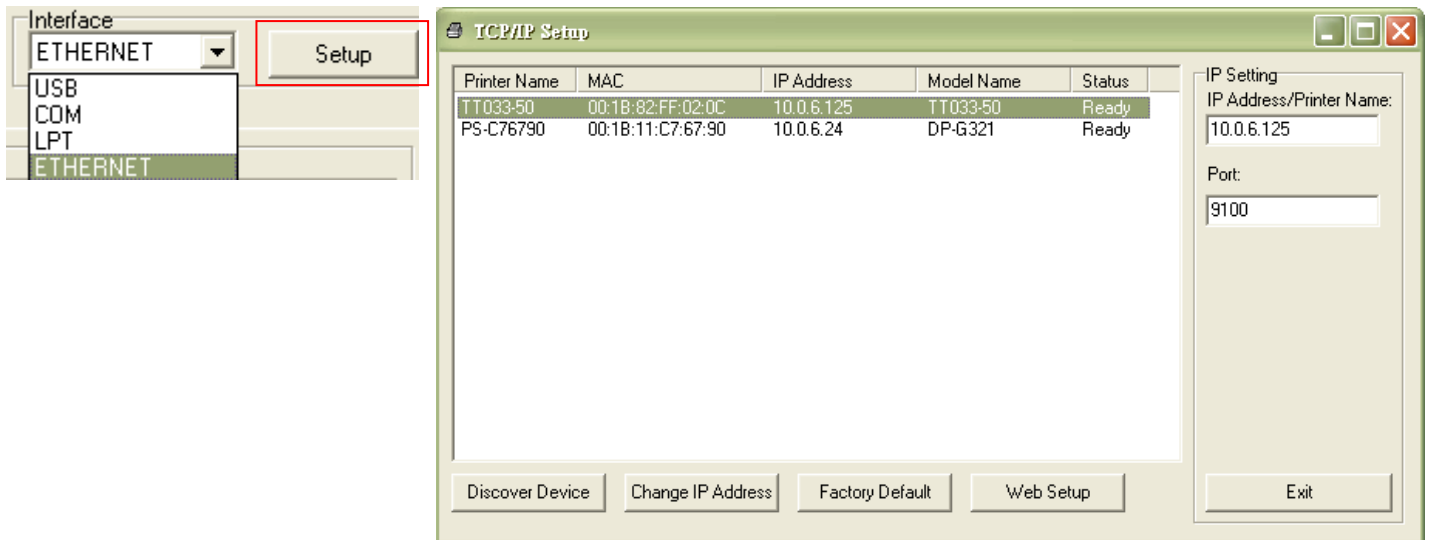


5. プリンタ構成タブのプリンタ機能グループから「Ethernet Setup(イーサネット設定)」ボタンをクリックして、オンボードイーサネットの IP アドレス、サブネットマスク、およびゲートウェイを設定します。

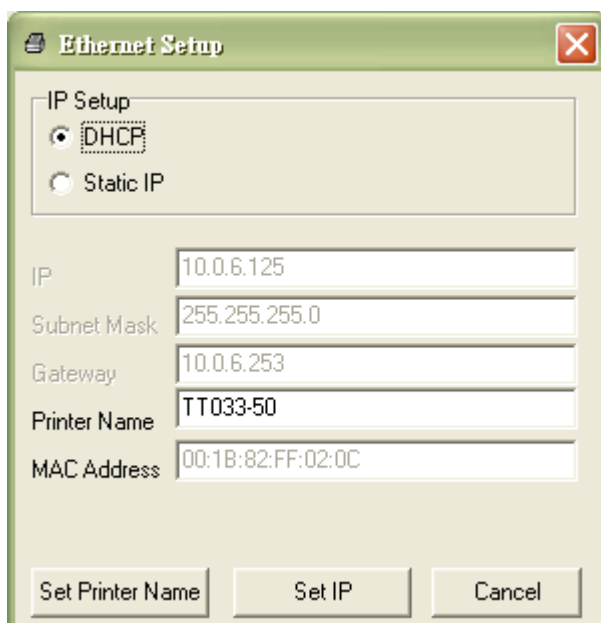


### 3.6.3 イーサネットインターフェイスを使ってイーサネットインターフェイスを設定する

1. コンピュータとプリンタを LAN に接続します。
2. プリンタの電源を入れます。
3. アイコンをダブルクリック  `DiagTool.exe` して診断ユーティリティを起動します。  
**注記:** このユーティリティはプリンタファームウェア V6.00 以降のバージョンで動作しません。
4. 「Ethernet(イーサネット)」をインターフェイスとして選択し、「Setup(設定)」ボタンをクリックしてオンボードイーサネットの IP アドレス、サブネットマスク、およびゲートウェイを設定します。



5. 「Discover Device(装置の発見)」ボタンをクリックして、ネットワーク上に存在するプリンタを検索します。
6. リストされたプリンタの左側にあるプリンタを選択します。対応する IP アドレスが右側の「IP address/Printer Name (IP アドレス/プリンタ名)」フィールドに表示されます。
7. 「Change IP Address (IP アドレスの変更)」をクリックし、DHCP またはスタティックによって得られた IP アドレスを構成します。



デフォルトの IP アドレスは DHCP によって得られます。設定をスタティックIPアドレスに

変更するには、「Static IP(スタティックIP)」のラジオボタンをクリックしてからIPアドレス、サブネットマスク、およびゲートウェイを入力します。「Set IP(IPを設定)」をクリックして設定を有効にします。

また、このフィールドに別のモデル名を入力して「Printer Name(プリンタ名)」を変更してから「Set Printer Name(プリンタ名を設定)」をクリックして、この変更を有効にすることもできます。

**注記:**「Set Printer Name(プリンタ名を設定)」または「Set IP(IPを設定)」ボタンをクリックするとプリンタがリセットされ、設定が有効になります。

8. 「Exit(終了)」ボタンをクリックしてイーサネットインターフェイス設定を終了し、診断ツールメイン画面に戻ります。

#### 工場出荷時のデフォルトボタン

この機能はDHCPにより得たIP、サブネットマスク、ゲートウェイのパラメータをリセットし、プリンタ名をリセットします。

#### ウェブ設定ボタン

プリンタの設定で診断ユーティリティを使用する場合を除き、プリンタ設定およびステータスを検索/構成したり、またはIEやFirefox Webブラウザでファームウェアを更新することができます。この機能は分かりやすい設定インターフェイスを提供し、ネットワーク上でプリンタをリモート管理します。

### 3.7 SD メモリカードの取り付け

1. SD メモリーカードのカバーを開きます。



2. メインボードに SD カードを差し込みます。



3. メモリーカードカバーを閉じます。



\* 推奨 SD カードの仕様

SD カード仕様	SD カード容量	認定 SD カード製造元
V1.0、V1.1	128 MB	SanDisk、Transcend
V1.0、V1.1	256 MB	SanDisk、Transcend、Panasonic
V1.0、V1.1	512 MB	SanDisk、Transcend、Panasonic
V1.0、V1.1	1 GB	SanDisk、Transcend、Panasonic
V2.0 SDHC CLASS 4	4 GB	
V2.0 SDHC CLASS 6	4 GB	SanDisk、Transcend、Panasonic

V1.0、V1.1	microSD 128 MB	Transcend、Panasonic
V1.0、V1.1	microSD 256 MB	Transcend、Panasonic
V1.0、V1.1	microSD 512 MB	Panasonic
V1.0、V1.1	microSD 1 GB	Transcend、Panasonic
V2.0 SDHC CLASS 4	microSD 4 GB	Panasonic
V2.0 SDHC CLASS 6	microSD 4 GB	Transcend
V1.0、V1.1	miniSD 128 MB	Transcend、Panasonic
V1.0、V1.1	miniSD 256 MB	Transcend、Panasonic
V1.0、V1.1	miniSD 512 MB	Transcend、Panasonic
V1.0、V1.1	miniSD 1 GB	Transcend、Panasonic
V2.0 SDHC CLASS 4	miniSD 4 GB	Transcend
V2.0 SDHC CLASS 6	miniSD 4 GB	
<p>- DOS FAT ファイルシステムは SD カードに対応しています。</p> <p>- SD カードに格納されるフォルダ/ファイルは 8.3 ファイル名フォーマットでなければなりません。</p> <p>- miniSD/microSD カードツーSD カードスロットのアダプタが必要となります。</p>		

## 4. LED とボタン機能

このプリンタにはボタン1つと3色 LED インジケータが1つ付いています。異なる色の LED を表示してボタンを押すことにより、プリンタはラベルをフィードしたり、印刷ジョブを一時停止したり、メディアセンサーを選択し校正したり、プリンタのセルフテスト報告を印刷したり、デフォルトにプリンタをリセット(初期化)することができます。異なる機能については以下のボタン操作を参照してください。

### 4.1 LED インジケータ

LED カラー	説明
緑/点灯	これは電源がオンで、装置の準備ができていることを示します。
緑/点滅	これは、装置がデータを PC からメモリへダウンロード中か、またはプリンタが一時停止中であることを示します。
黄色	これは装置がプリンタからデータを消去中であることを示します。
赤/点灯	プリンタヘッドが開いているための、カッターエラーを示します。
赤/点滅	ヘッドが開いていること、用紙切れ、紙の詰まり、リボンなし、またはメモリーエラーなどの印刷エラーを示します。

### 4.2 通常ボタン機能

#### 1. フィードラベル

プリンタの用意ができたなら、ボタンを押して1つのラベルを次のラベルの先頭に送り込みます。

#### 2 印刷ジョブの一時停止

プリンタの印刷中にボタンを押すと、印刷ジョブが一時停止します。プリンタが一時停止すると LED が緑に点滅します。ボタンを再び押すと、印刷ジョブが継続されます。

### 4.3 パワーオン・ユーティリティ

プリンタハードウェアを設定しテストするための6つのパワーオン・ユーティリティがあります。これらのユーティリティは、FEED(フィード)ボタンを押してから、プリンタの電源を入れると同時に、違う色の LED でボタンを同時に放すことで起動します。

さまざまなパワーオン・ユーティリティについては以下のステップに従ってください。

1. 電源スイッチを切ります。
2. ボタンを押し続けて電源スイッチをオンにします。
3. LED が異なる機能を異なるカラーで表示したら、ボタンを放します。



パワーオン ユーティリティ	LED カラーは次のようなパターンで変更されます：							
機能	LED カラー	黄色	赤 (点滅5回)	黄色 (点滅5回)	緑 (点滅5回)	緑/黄色 (点滅5回)	赤/黄色 (点滅5回)	緑で点灯
1. リボンセンサー校正およびギャップ/ブラックマークセンサー校正			リリース					
2. ギャップ/ブラックマーク センサー校正、セルフテスト、およびダンプモードに入る				リリース				
3. プリンタの初期化					リリース			
4. ブラックマーク センサーをメディアセンサーとして設定し、ブラックマークセンサーを校正する						リリース		
5. ギャップセンサーをメディアセンサーとして設定し、ギャップセンサーを校正する							リリース	
6. AUTO.BAS をスキップ								リリース

#### 4.3.1 リボンおよびギャップ/ブラックマーク センサー校正

ギャップ/ブラックマーク センサー感度は以下の条件で校正される必要があります：

1. 新品のプリンタ
2. ラベルストックの変更。
3. プリンタの初期化。

以下のステップに従ってリボンおよびギャップ/ブラックマークセンサーを校正してください。

1. 電源スイッチを切ります。
2. ボタンを押し続けて電源スイッチをオンにします。
3. LED が赤で点滅し始めたらボタンを放します。(5回の点滅のうちどの赤でも可)。

- これにより、リボンセンサーおよびギャップ/ブラックマーク センサー感度が校正されます。
- LED カラーは次の順序で変更されます。  
黄色 → 赤(5回点滅) → 黄色(5回点滅) → 緑(5回点滅) → 緑/黄色(5回点滅) → 赤/黄色(5回点滅) → 緑で点灯

注記：

センサーを校正する前に、GAP あるいは BLINE コマンドをプリンタに送信し、ギャップまたはブラックマークセンサーを選択してください。

GAP および BLINE コマンドについての詳細は、TSPL2 プログラミング説明書を参照してください。

### 4.3.2 ギャップ/ブラックマーク較正、セルフテスト、ダンプモード

ギャップ/ブラックマークセンサーを校正しながら、プリンタはラベル長を測定し、内部構成(セルフテスト)をラベルに印刷し、そしてダンプモードに入ります。ギャップまたはブラックマークセンサーの校正は、最後の印刷ジョブでのセンサー設定に依存します。

以下のステップに従ってセンサーを校正してください。

1. 電源スイッチを切ります。
2. ボタンを押し続けて電源スイッチをオンにします。
3. LED が黄色で点滅し始めたらボタンを放します。(5 回の点滅のうちどの黄色でも可)。

■ LED カラーは次の順序で変更されます：

黄色 → 赤(5 回点滅) → 黄色(5 回点滅) → 緑(5 回点滅) → 緑/黄色(5 回点滅)  
→ 赤/黄色(5 回点滅) → 緑で点灯

4. センサーが校正され、ラベル長が測定され、内部設定が印刷されると、ダンプモードに入ります。

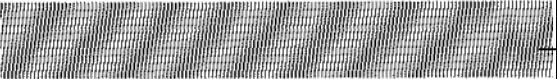
注記：

センサーを校正する前に、診断ツールまたは、GAP あるいは BLINE コマンドにより、ギャップまたはブラックマークセンサーを選択してください。

GAP および BLINE コマンドについての詳細は、TSPL2 プログラミング説明書を参照してください。

## セルフテスト

プリンタはギャップ/ブラックマークセンサー較正の後、プリンタ構成を印刷します。セルフテストのプリントアウトは、発熱素子、プリンタ構成、空きメモリ空間になんらかのドット損傷がないか点検するのに使用できます。

セルフテスト印刷	
<pre> <b>PRINTER INFO.</b>  <b>TTP245C Version: 6.33 EZ</b> <b>MILAGE(m): 272</b> <b>CHECKSUM: 0594C7F2</b> <b>SERIAL PORT: 9600,N,8,1</b> <b>CODE PAGE: 850</b> <b>COUNTRY CODE: 001</b> <b>SPEED: 2 INCH</b> <b>DENSITY: 12</b> <b>SIZE: 4.00 , 2.50</b> <b>GAP: 0.00 , 0.00</b> <b>TRANSPARENCE: 16</b> <b>MAC ADDRESS: 00-1B-82-FF-01-98</b> <b>DHCP ENABLED: YES</b> <b>IP ADDRESS: 10.0.2.88</b>  <b>SUBNET MASK: 255.255.255.0</b> <b>DEFAULT GATEWAY: 10.0.2.254</b> ***** <b>FILE LIST:</b> <b>DRAM FILE: 0 FILE(S)</b>  <b>FLASH FILE: 0 FILE(S)</b>  <b>PHYSICAL DRAM: 8192 KBYTES</b> <b>AVAILABLE DRAM: 256 KBYTES FREE</b> <b>PHYSICAL FLASH: 2048 KBYTES</b> <b>AVAILABLE FLASH: 1088 KBYTES FREE</b> <b>END OF FILE LIST</b> *****           </pre>	<p>           プリントヘッド テストパターン            プリンタモデル名&amp;メインボード ファームウェア バージョン            印刷されたマイルージ            メインボード ファームウェア チェックサム            シリアルポート設定            コードページ            国コード            印刷速度            印刷濃度            ラベルサイズ(幅、高さ)            ギャップサイズ(縦ギャップ、オフセット)            センサー感度         </p> <p>           } ファイル管理情報         </p>

## セルフテスト印刷(プリンタファームウェアv7.0以降のバージョンで)

<pre> ----- <b>SYSTEM INFORMATION</b> ----- <b>MODEL: XXXXXX</b> <b>FIRMWARE: X.XX</b> <b>CHECKSUM: XXXXXXXX</b> <b>S/N: XXXXXXXXXXXX</b> <b>TCF: NO</b> <b>DATE: 1970/01/01</b> <b>TIME: 00:04:18</b> <b>NON-RESET: 110 m (TPH)</b> <b>RESET: 110 m (TPH)</b> <b>NON-RESET: 0 (CUT)</b> <b>RESET: 0 (CUT)</b>           </pre>	<p>           モデル名            ファームウェアバージョン            ファームウェアチェックサム            プリンタシリアル番号            TSC 構成ファイル            システム日付            システム時刻            印刷されたマイルージ(メートル)            切断カウンター         </p>
---	---

```

-----
PRINTING SETTING
-----
SPEED: 5 IPS
DENSITY: 8.0
WIDTH: 4.00 INCH
HEIGHT: 4.00 INCH
GAP: 0.00 INCH
INTENSION: 5
CODEPAGE: 850
COUNTRY: 001
-----

```

印刷速度(インチ/秒)  
印刷濃度  
ラベルサイズ(インチ)  
ギャップ距離(インチ)  
ギャップ/ブラックマーク センサー強度  
コードページ  
国コード

```

-----
Z SETTING
-----
DARKNESS: 16.0
SPEED: 4 IPS
WIDTH: 4.00 INCH
TILDE: 7EH (~)

CARET: 5EH (^)
DELIMITER: 2CH (,)
POWER UP: NO MOTION
HEAD CLOSE: NO MOTION
-----

```

ZPL 設定情報  
印刷濃度  
印刷速度(インチ/秒)  
ラベルサイズ  
コントロールプレフィックス  
フォーマットプレフィックス  
区切り文字プレフィックス  
プリンタ電源投入モーション  
プリンタヘッドを閉じるモーション

注記:  
ZPL は Zebra® 言語を模倣していま  
す。

```

-----
RS232 SETTING
-----
BAUD: 9600
PARITY: NONE
DATA BIT: 8
STOP BIT: 1
-----

```

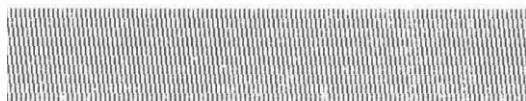
RS232 シリアルポート構成

```

-----
DRAM FILE (0 FILES)
-----
PHYSICAL XXXX KBYTES
AVAILABLE XXXX KBYTES
-----
FLASH FILE (0 FILES)
-----
PHYSICAL XXXX KBYTES
AVAILABLE XXXX KBYTES
-----

```

ダウンロード済みファイル数  
総合 & 空きメモリ容量



プリントヘッド チェックパターン

## ■ ダンプモード

プリンタはプリンタ構成の印刷後にダンプモードに入ります。ダンプモードでは、すべての文字が次のように2列に印刷されます。左側の文字はお客様のシステムから受け取られたもので、右側のデータは文字に対応する16進値です。これにより、ユーザーやエンジニアはプログラムを検証しデバッグできるようになります。

ASCII データ	→	<pre> SPEED 2.0 53 50 45 45 44 20 32 2E 30 0D DENSITY 8 0A 44 45 4E 53 49 54 59 20 38 SET PEEL 0D 0A 53 45 54 20 50 45 45 4C OFF DIRE 20 4F 46 46 0D 0A 44 49 52 45 CTION 0 G 43 54 49 4F 4E 20 30 0D 0A 47 AP 3.00 mm 41 50 20 33 2E 30 30 20 6D 6D .0.00 mm 2C 30 2E 30 30 20 6D 6D 0D 0A REFERENCE 52 45 46 45 52 45 4E 43 45 20 0.0 SET C 30 2C 30 0D 0A 53 45 54 20 43 UTTER OFF 55 54 54 45 52 20 4F 46 46 0D SIZE 100. 0A 53 49 5A 45 20 31 30 30 2E 02 mm.65.0 30 32 20 6D 6D 2C 36 35 2E 30 4 mm CLS 34 20 6D 6D 0D 0A 43 4C 53 0D BARCODE 1 0A 42 41 52 43 4F 44 45 20 31 44.149.39 34 34 2C 31 34 39 2C 22 33 39 .120.1.0. 22 2C 31 32 30 2C 31 2C 30 2C 2.6.57114 32 2C 36 2C 22 35 37 31 31 34 38T" PRIN 33 38 54 22 0D 0A 50 52 49 4E T 1.1 SPE 54 20 31 2C 31 0D 0A 53 50 45 ED 2.0 DE 45 44 20 32 2E 30 0D 0A 44 45 NSITY 8 S 4E 53 49 54 59 20 38 0D 0A 53  ET PEEL OF 45 54 20 50 45 45 4C 20 4F 46 F DIRECTI 46 0D 0A 44 49 52 45 43 54 49 ON 0 GAP 4F 4E 20 30 0D 0A 47 41 50 20 3.00 mm.0. 33 2E 30 30 20 6D 6D 2C 30 2E 00 mm REF 30 30 20 6D 6D 0D 0A 52 45 46 ERENCE 0.0 45 52 45 4E 43 45 20 30 2C 30 SET CUTT 0D 0A 53 45 54 20 43 55 54 54 ER OFF SI 45 52 20 4F 46 46 0D 0A 53 49 ZE 100.02 5A 45 20 31 30 30 2E 30 32 20 mm.65.04 m 6D 6D 2C 36 35 2E 30 34 20 6D m CLS BA 6D 0D 0A 43 4C 53 0D 0A 42 41 RCODE 144. 52 43 4F 44 45 20 31 34 34 2C 149.39.1 31 34 39 2C 22 33 39 22 2C 31 20.1.0.2.0 32 30 2C 31 2C 30 2C 32 2C 36 .571143BT 2C 22 35 37 31 31 34 33 38 54 PRINT 1 22 0D 0A 50 52 49 4E 54 20 31 .1 2C 31 0D 0A </pre>	←	ASCII データの左側列に関連する16進法データ
-----------	---	--	---	---------------------------

### 注記:

1. ダンプモードは幅4インチの用紙幅を必要とします。
2. 通常印刷でプリンタを再開するには、電源をオフ/オンにします。
3. フィードボタンを押すと前のメニューに戻ります。

### 4.3.3 プリンタの初期化

プリンタの初期化は、DRAMをクリアしてプリンタ設定をデフォルトに戻すのに使用されます。唯一の例外はリボン感度で、これはデフォルトに復元されることはありません。

プリンタの初期化は次のような手順で有効になります。

1. 電源スイッチを切ります。
2. ボタンを押し続けて電源スイッチをオンにします。
3. 黄色が5回点滅した後、LEDが緑に変わったらボタンを放します。(5回の点滅のうちどの緑でも可。)

### ■ LEDカラーは次のように変更されます:

黄色 → 赤(5回点滅) → 黄色(5回点滅) → 緑(5回点滅) → 緑/黄色(5回点滅)  
 → 赤/黄色(5回点滅) → 緑で点灯

プリンタ構成は、初期化の後、以下のようにデフォルトに戻ります。

パラメータ	デフォルト設定
速度	127 mm/秒 (5 ips) (203DPI) 76 mm/秒 (3 ips) (300DPI)
濃度	8
ラベル幅	4" (101.5 mm)
ラベル高	4" (101.5 mm)
センサーの種類	ギャップセンサー
ギャップ設定	3.0 mm (0.12")
印刷方向	0
基準点	0,0 (左上隅)
オフセット	0
テアモード	オン
ピールオフモード	オフ
カッターモード	オフ
シリアルポート設定	9600 bps、パリティなし、8 データビット、1 ストップビット
コードページ	850
国コード	001
フラッシュメモリを消去	いいえ
IP Address	DHCP

#### 4.3.4 ブラックマーク センサーをメディアセンサーとして設定し、ブラックマークセンサーを校正する

以下の手順に従ってください。

1. 電源スイッチを切ります。
2. ボタンを押し続けて電源スイッチをオンにします。
3. 緑が 5 回点滅した後、LED が緑/黄色に変わったらボタンを放します。(5 回の点滅のうちどの緑/黄色でも可。)

■ LED カラーは次のように変更されます：

黄色 → 赤(5 回点滅) → 黄色(5 回点滅) → 緑(5 回点滅) → 緑/黄色(5 回点滅)  
→ 赤/黄色(5 回点滅) → 緑で点灯

#### 4.3.5 ギャップセンサーをメディアセンサーとして設定し、ギャップセンサーを校正する

以下の手順に従ってください。

1. 電源スイッチを切ります。
2. ボタンを押し続けて電源スイッチをオンにします。

3. 緑/黄色が 5 回点滅した後、LED が **赤/黄色**に変わったらボタンを放します。(5 回の点滅のうちどの赤/黄色でも可。)

■ LED カラーは次のように変更されます：

黄色 → 赤(5 回点滅) → 黄色(5 回点滅) → 緑(5 回点滅) → 緑/黄色(5 回点滅)  
→ **赤/黄色(5 回点滅)** → 緑で点灯

#### 4.3.6 AUTO.BAS をスキップ

TSPL2 プログラミング言語では、自動実行ファイルをフラッシュメモリにダウンロードすることができます。プリンタの電源が入ると、直ちにプリンタは AUTO.BAS プログラムを実行します。パワーオン・ユーティリティでプログラムを実行せずに、AUTO.BAS プログラムを中断することができます。

AUTO.BAS プログラムをスキップするには、以下の手順に従ってください。

1. プリンタの電源を切ります。
2. FEED(フィード)ボタンを押してから、電源を入れてください。
3. LED が**緑で点灯**し始めたら FEED(フィード)ボタンを放します。

■ LED カラーは次のように変更されます：

黄色 → 赤(5 回点滅) → 黄色(5 回点滅) → 緑(5 回点滅) → 緑/黄色(5 回点滅)  
→ **赤/黄色(5 回点滅)** → **緑で点灯**

4. プリンタは AUTO.BAS プログラムを実行するために中断されます。

## 5. トラブルシューティング

次のガイドは、本バーコードプリンタの操作中に発生する可能性のある最も一般的な問題点をリストアップしています。推奨されるすべての解決策を実行してもプリンタが正常に機能しない場合は、購入の小売店または販売業者のカスタマーサービス部にお問い合わせください。

### 5.1 LED ステータス

このセクションでは、プリンタの操作中に発生する可能性のある一般的な問題点を、LED ステータスと他の問題に基づいてリストアップしています。また、解決策も提示されます。

LED ステータス/カラー	プリンタのステータス	考えられる原因	回復手順
オフ	応答なし	電源が入っていません	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 電源スイッチを入れます。</li> <li>* 電源装置の緑のLEDが点灯しているか確認してください。点灯していない場合は電源装置の故障です。</li> <li>* しっかり接続されている場合は、電源コードから電源装置まで、電源装置からプリンタ電源ジャックまでの電源接続を点検します。</li> </ul>
緑で点灯	オン	プリンタはいつでも使用できます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 何らかの措置を講じる必要はありません。</li> </ul>
緑で点滅	一時停止	プリンタが一時停止中です	<ul style="list-style-type: none"> <li>* FEED(フィード)ボタンを押すと印刷を再開します。</li> </ul>
赤で点滅	エラー	ラベルまたはリボン切れか、プリンタ設定が正しくありません	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ラベルまたはリボン切れ <ul style="list-style-type: none"> <li>* ラベルのロールを取り付け、メディアの取り付けたら指示に従い、FEED(フィード)ボタンを押して印刷を再開します。</li> <li>* リボンのロールを取り付け、リボンの取り付けたら指示に従い、FEED(フィード)ボタンを押して印刷を再開します。</li> </ul> </li> <li>2. プリンタ設定が正しくない <ul style="list-style-type: none"> <li>* 「Power on Utility(パワーオン・ユーティリティ)」または「Diagnostic Tool(診断ツール)」の指示に従ってプリンタを初期化します</li> </ul> </li> </ol>

**注記:**

プリンタのステータスは診断ツール上に簡単に表示することができます。診断ツールの詳細は、ソフトウェア CD ディスク内の使用説明を参照してください。



## 5.2 印刷画質

問題	考えられる原因	回復手順
印刷できない	インターフェースケーブルがインターフェイスコネクタにしっかり接続されているか確認してください。	ケーブルをインターフェイスに接続し直します。
	シリアルポートのケーブルピン構成がピンツーピン接続ではありません。	ケーブルをピンツーピン接続と交換してください。
	シリアルポート設定がホストとプリンタ間で一貫していません。	シリアルポート設定をリセットしてください。
	Windows ドライバで指定されたポートが正しくありません。	ドライバの正しいプリンタポートを選択してください。
	イーサネット IP、サブネットマスク、ゲートウェイが正しく構成されていません。	IP、サブネットマスク、ゲートウェイを構成してください。
ラベルに印刷されない	ラベルまたはリボンの取り付けが正しくありません。	メディアの取り付け またはリボンの取り付けの指示に従ってください。
	リボン切れになりました。	リボンを取り付けてください。
ラベルの連続送り	プリンタ設定の故障が考えられます。	初期化とギャップ/ブラックマーク較正を行ってください。
紙詰まり	ギャップ/ブラックマークセンサー感度が正しく設定されていません(センサー感度が不十分)	ギャップ/ブラックマークセンサーを校正してください。
	ラベルサイズが正しく設定されているか確認してください。	ラベルサイズは、ラベリングソフトウェアまたはプログラムにインストールされた紙と同サイズになるように設定します。
	センサー領域近くのプリンタ装置内にラベルが詰まっている可能性があります。	詰まっているラベルを取り除きます。
印刷の質が悪い	上部カバーが正しく閉じていません。	上部カバーを完全に閉め、左右両側のレバーが正しくかかっているか確認します
	電源装置が正しく取り付けられているか確認します。	電源装置をリロードします。
	リボンとメディアが互換していません。	リボンまたはラベルの組み合わせを変更します。
	ほこりや接着剤がプリントヘッドにたまっていないか点検します。	プリントヘッドの汚れを取ります。
	印刷濃度が正しく設定されているか確認します。	印刷濃度と印刷速度を調整します。
	ヘッド素子が損傷していないかプリントヘッドのテストパターンを点検します。	プリンタのセルフテストを実行し、パターンにドットの欠落がないかプリントヘッドのテストパターンを点検します。

## 6. メンテナンス

このセッションでは、プリンタを保守するための清浄ツールおよび方法を示します。

1. プリンタを清浄するには次のいずれかの材料を使用してください。

- 綿棒(ヘッドクリーナーペン)
- 柔らかい布
- 真空/ブロワーブラシ
- 100%エタノール

2. 清浄は次のプロセスで行われます。

プリンタ部品	方法	間隔
プリントヘッド	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. プrintヘッドを清浄する前に必ずプリンタの電源を切ってください。</li> <li>2. 少なくとも1分間、プリンタヘッドが冷却されるのを待ちます。</li> <li>3. 綿棒と100%エタノールを使ってPrintヘッドの表面を拭きます。</li> </ol>	新しいラベルロールを使う時はPrintヘッドを拭いてください。
プラテンローラー	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. プリンタの電源を切ります。</li> <li>2. プラテンローラーを回転し、100%エタノールと綿棒、または柔らかい布でそれを完全に拭き取ります。</li> </ol>	新しいラベルロールを使う時はプラテンローラーを拭いてください。
テーパーピールバー	柔らかい布と100%エタノールを使って拭き取ります。	必要に応じて
センサー	圧縮空気または真空	毎月
外面	水で湿らせた布で拭きます	必要に応じて
内面	ブラシまたは掃除機	必要に応じて

注記:

- プリントヘッドに手を触れないでください。うっかりヘッドに触れてしまった場合は、エタノールを使って汚れを取り除きます。

- 100%エタノールを使ってください。医療用アルコールを使わないでください。プリンタヘッドが破損する可能性があります。
- 新しいリボンに交換した際は、プリンタの性能を維持しプリンタの寿命を延ばすために、プリンタヘッドと電源センサーを定期的に洗浄します。
- 連続印刷はプリンタモーターが過熱する原因となります。プリンタはモーターが冷却するまで約 10～15 分、自動的に印刷を停止します。プリンタが一時停止になっているとき電源をオフにしないでください。オフにすると、プリンタに転送されたデータが失われます。
- このプリンタのドットラインあたりの最大印刷比は 15%です。完全なウェブ黒線を印刷するために、黒線の最大高は 40 ドット、すなわち 203DPI 解像度プリンタで 5mm、300DPI 解像度プリンタで 3.3mm に制限されます。

## 改訂履歴

日付	内容	編集者
2008/8/6	セクション 3.4.3 の改訂(ピールオフモードでのメディアの取り付け)	カミーユ
2008/11/17	セクション 3.4.2 の改訂(外部ラベルロールマウントの取り付け/オプション)	カミーユ
2009/2/4	セクション 3.4.4 の改訂(カッターモードでのメディアの取り付け/オプション)	カミーユ
2009/3/11	セクション 2.2.1 & 3.6 の改訂(推奨 SD カードの仕様)	カミーユ
2009/6/19	セクション 1.2 の改訂	カミーユ
2009/10/13	*セクション 3.5 の改訂 *セクション 3.6 の追加	カミーユ
2010/9/1	セクション 3.4.3 の改訂(ピールオフモードでのメディアの取り付け)	カミーユ
2010/11/23	セクション 1.2 と 3.1 の改訂	カミーユ
2011/1/25	TSC 所在地の改変	カミーユ
2013/4/2	セクション 3.4.4 の改変(カッターの仕様) セクション 4.3.2 の改変(V7.0 ファームウェアのセルフテスト) TSC YouTube Web アドレスの追加	カミーユ



TSC Auto ID Technology Co., Ltd.

本社

9F., No.95, Minguan Rd., Xindian Dist.,  
New Taipei City 23141, Taiwan (R.O.C.)

電話: +886-2-2218-6789

ファックス: +886-2-2218-5678

ホームページ: [www.tscprinters.com](http://www.tscprinters.com)

電子メール: [printer\\_sales@tscprinters.com](mailto:printer_sales@tscprinters.com)  
[tech\\_support@tscprinters.com](mailto:tech_support@tscprinters.com)

Li Ze 施設

No.35, Sec. 2, Ligong 1st Rd., Wujie Township,  
Yilan County 26841, Taiwan (R.O.C.)

電話: +886-3-990-6677

ファックス: +886-3-990-5577